

令和6年度 十勝管内教育研究所 連絡協議会

共同研究



十勝教育研究所

柴田 悠二
山本 由佳
佐藤 悠樹

01

研究主題



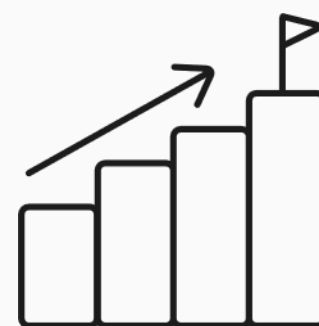
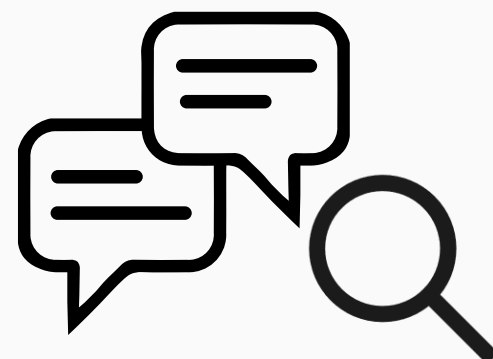
自分の考えを表現し合い、
学びを深める子ども
を育む研究

～考えを広げ深める対話の工夫と、
学びをつなげる振り返りを通して～

(2 年連続研究 2 年次)

02

研究の仮説



協働的な学習において

**子どもが課題や目的意識
をもち
主体的に対話に取り組み、**

単元を通して

**振り返りを積み重ね、
学びを共有・比較して
つなげる**

ことによって、

**自分の考えを表現し合い、
学びを深める子ども**

を育むことができるだろう。

多様な表現で
伝える

考えを
広げる

考えを
再形成する

次の学びに
つなげる



自分の考えを表現し合い、
学びを深める子ども

本研究における
「めざす子どもの姿」

(1)

考えを広げ深める
対話の工夫

協働的な学習による

「他者との対話」

考えの再形成

自身の考えを深める

「自己との対話」

(1) 考えを広げ深める 対話の工夫

① 課題や目的意識の共有

- 対話の必要感をもつ課題設定



思考スキル▶ (対話の視点)

多面的に見る 多角的に見る	分類する	理由付ける	評価する	具体化する
順序立てる	関係付ける	見通す	要約する	構造化する
焦点化する	関連付ける	応用する	変化を捉える	推論する

(1)

考えを広げ深める 対話の工夫

② 自己決定の場の設定

- 個人思考の時間の確保
- 教師のファシリテーション





(2)

学びをつなげる
振り返り

自己の学びと他者の学び

今までの学びとこれからの学び

(2) 学びをつなげる 振り返り

① 視点を明確にした振り返り

ポイント	振り返りの視点
(1) 「振り返り」の目的を確認する。	① 学びの自覚 ② 学びの見通し ③ 新たな学びの創造
(2) 他者と「振り返り」を共有する。	④ 他者の振り返りを自分の学びに生かす
(3) 「振り返り」を振り返る。	⑤ 自己の成長の自覚 ⑥ 批判的検討

(2)

学びをつなげる 振り返り

② 共有・比較する振り返り

- ・ 学びや変容

- ・ 気づきや新たな視点

- ・ 次へのヒントや意欲

- ・ 自己調整

04

研究の組織

グループ	Aグループ	Bグループ
学年・教科	小学校第2学年・国語科	中学校第3学年・数学科
推進幹事	中村 俊太（芽室南小）	藤原 悠大（大空学園）
推進副幹事	程野 純貴（足寄小）	上野 純子（音更中）
授業者	齊藤 織斗（大樹小）	長澤 翔太（幕別中）
共同研究員	土屋 英之（上居辺小） 杉浦 亜弓（上士幌小） 中山 竜太（鹿追小） 土橋 真理（中札内小） 原田 憲未（上更別小） 名越 正道（池田小） 幾島 佑真（本別中央小）	柴山 貴大（新得中） 高原 悠輔（御影中） 山下 喜久（広尾中） 添田佑生子（豊頃中） 田口 宏子（上浦幌中） 高松ななみ（陸別小）

対話

振り返り

- 子どもの見取り・インタビュー
- 対話記録・記述の分析
- アンケート調査



自分の考えを表現し合い、
学びを深める子ども



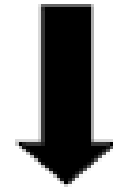
「わにのおじいさんのたからもの」

小学校第2学年国語科 group

A

◎かだい お話のつづきを考えよう。

おたの子が、わたのおじいさんのいる川きしもどつたら、二人はどんな話をするか、そつそつして書



- ①おたの子とわたのおじいさんの会話を入れる。
- ②書き方は、作文の書き方と同じ。

おたの子が、わたのおじいさんがいる川きしもどつてきました。

単元の課題

登場人物が考えていたことを本文の言葉を根拠に想像し、学習課題に沿って物語の続きを考える。

課題のワークシート▶

A

授業実践 1 (6 / 14時間)

本時の目標

おにの子の人物像について交流する中で、よりふさわしいと思う人物像に修正したり、考えの根拠を増やしたりすることができる。



主な学習活動



前時に考えたおにの子の人物像について、友達と交流し、考えを修正したり、広げたりする。



A

授業実践 1 (6 / 14時間)

考えを広げ深める
対話の工夫



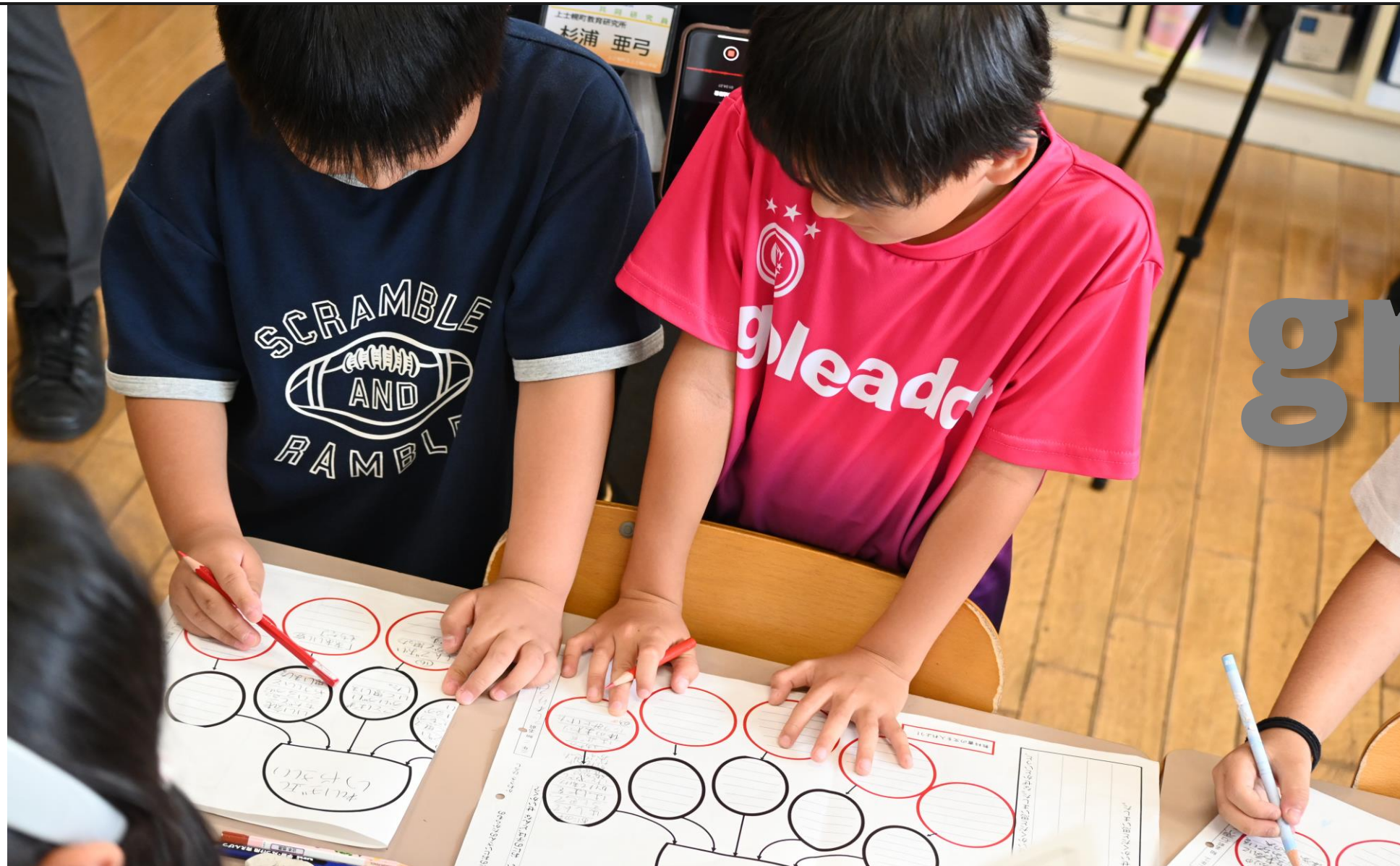
思考スキル (対話の視点)

多面的に見る
多角的に見る

広げてみる

自己決定の場の設定

■ 対話の相手

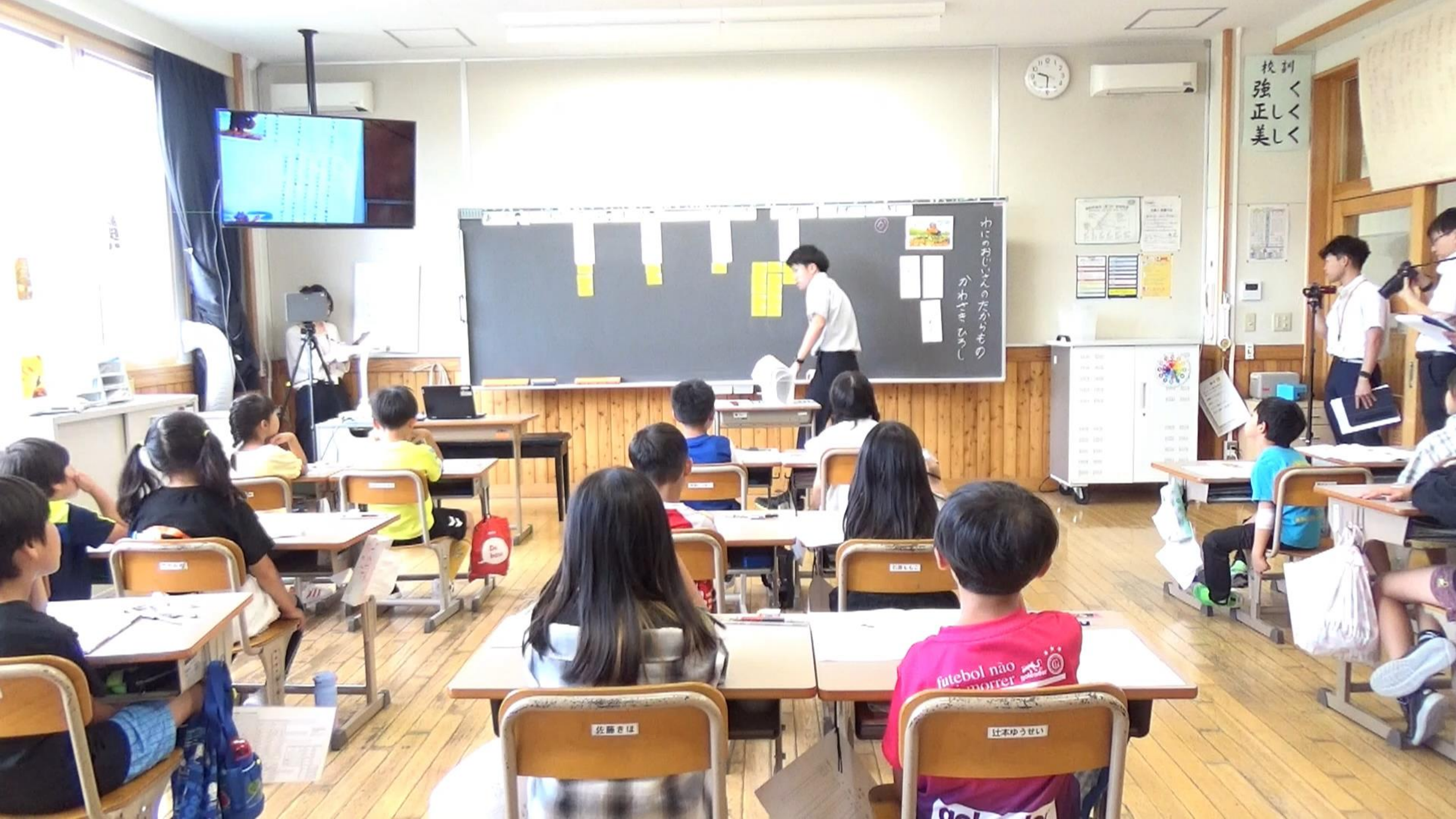


group **A**

授業動画①

(6/14時間目の様子)

 **対話** の場面



わにのおじいさんのたからもの
かわさき県

わにのおじいさんのたからもの
かわさき県



校訓
強く
正しく
美しく

futebol não
morre

佐藤きほ

はなゆうせい

A

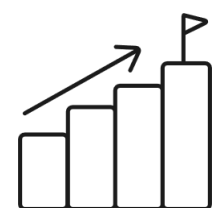
授業実践 2 (14 / 14時間)

本時の目標

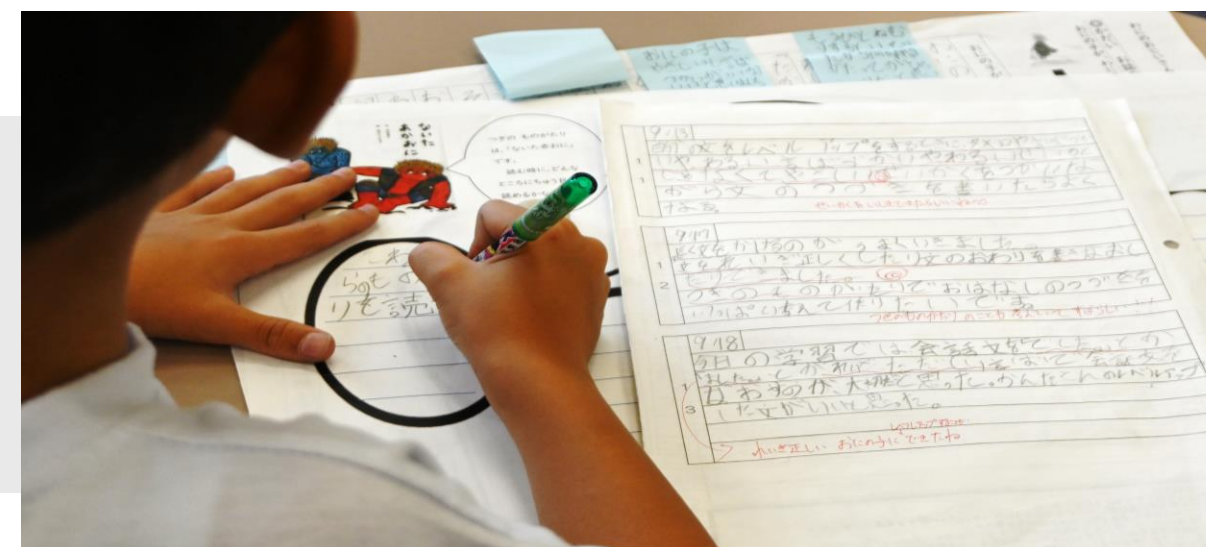
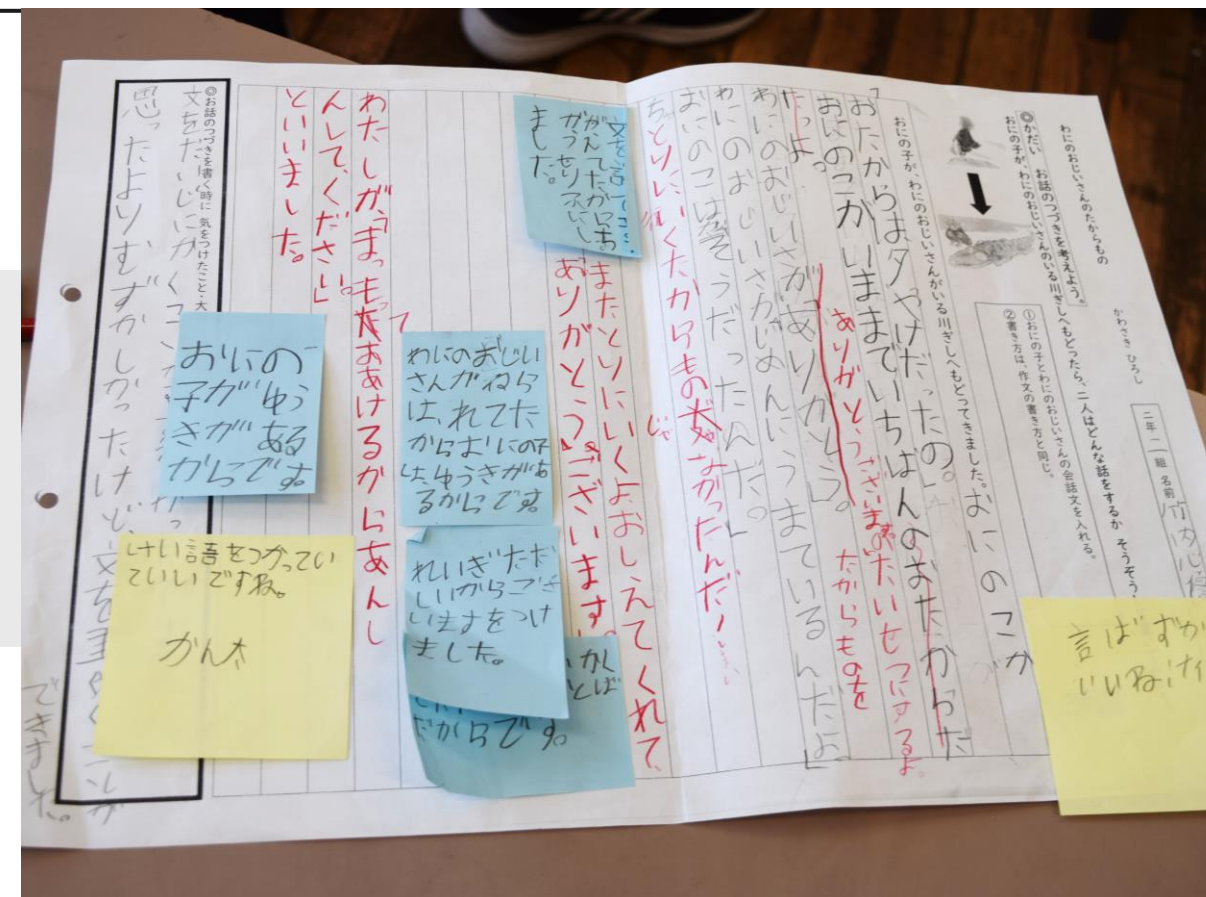
物語の続きをよりよくするために、修正したり追加したりした箇所を交流したり、単元全体を振り返ったりすることができる。

主な学習活動

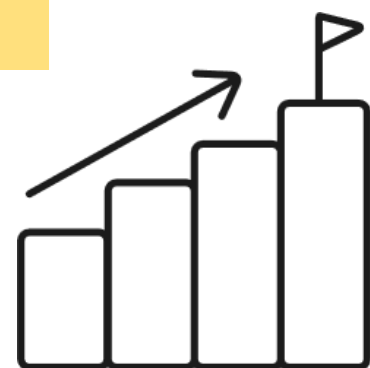
- 自分の物語の続きを修正したところ振り返り、よさを見つける。
- 単元を通して成長したところを振り返る。



振り返り



学びをつなげる 振り返り



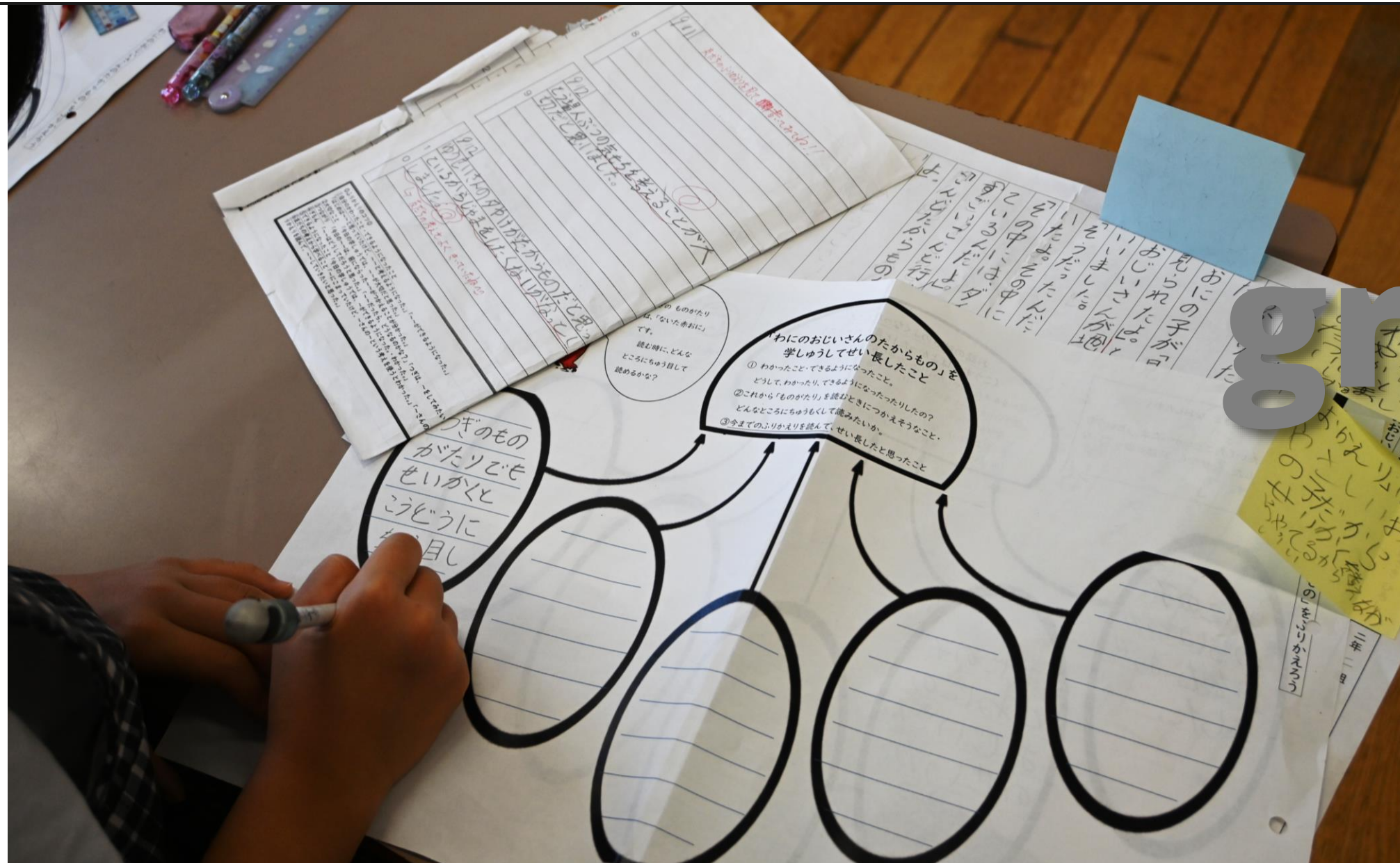
振り返りの視点

① (学びの自覚)

分かったことやできるようになったこと。

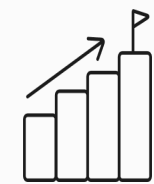
⑤ (自己の成長の自覚)

これまでの振り返りから自分の変化や成長を自覚する。



group A

授業動画② (14/14時間目の様子)

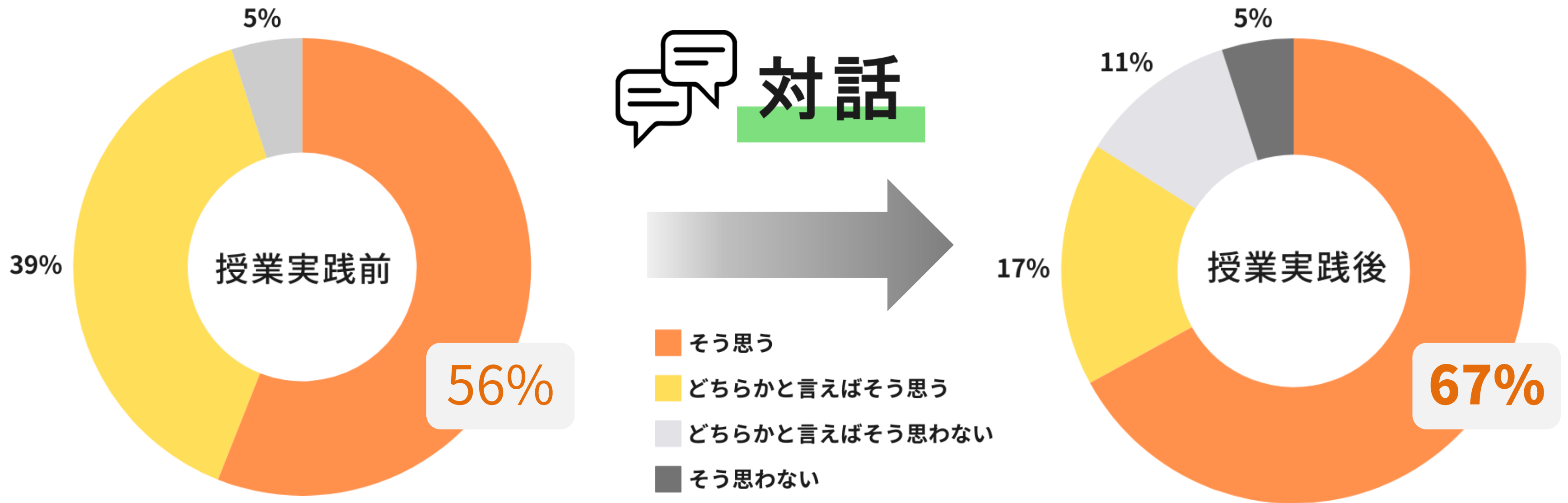


振り返り の場面

A

子どもへのアンケート調査より

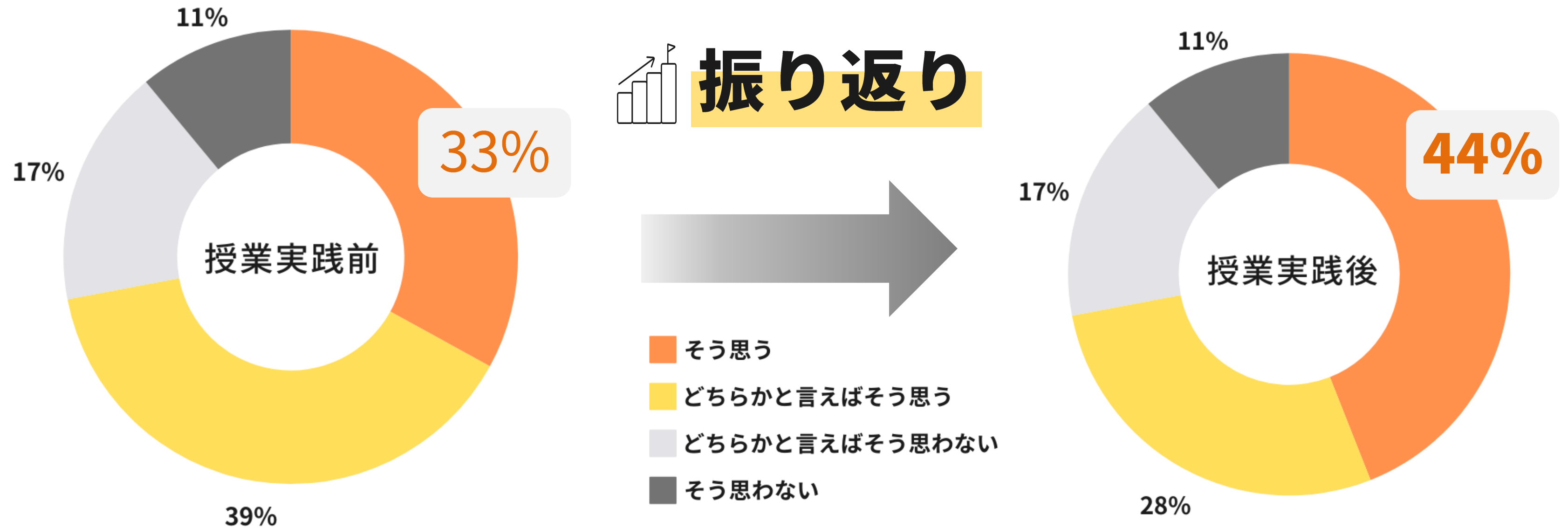
友達との話し合いで、「なるほど」「そういう考えもあるのか」などと思うことができたか。



A

子どもへのアンケート調査より

分かったことやよく分からなかったことなどを振り返って、次の勉強につなげることができましたか。



A

子どもへのインタビューより

Q：友達と振り返りを交流して、参考になったことや考えが広がったり深まったりしたことはありましたか。



今日勉強したことや分かったことを、振り返りに詳しく書いている人がいっぱいいるから、**見ると勉強になる。振り返りを毎日書いてるから、長く書けるようになったし、人の振り返りを見るとアイデアをもらえる。**

Aさんが、「このお話で勉強したこと（行動やせりふを読み取ると登場人物の性格が分かること）は、違うお話でも使える」と言っていて、なるほどと思った。



A

子どもの記述内容より（振り返りシート）

たんげん名 わにのおじいさんのたからもの
 たんげんのゴール お話の続きを考えることができる。

8/20
 1 今日、わにのおじいさんのたからものを学んだ。次はこのつづきを書かなくていいか、みゆさんのやくわりのやくをやりたいかがいいと思います。

9/3
 2 え、いたろうさんの「わにのおじいさん、わいかにとうごがいます。かおをしちがた。次の学しゅうでよりくみにいことか、かわとひろしさんは、なせおにの子は、おにのたからものほろぼったの。

9/5
 4 今日の学しゅうでは、どんなお話か？だったから次は、どんなお話をしよくレベルアップさせたい。ゆうせいさんのしよ語をしっかりといてよかった。

9/19
 5 今日、おにのせいかくを考えると、弓強だんから次は、これもレベルアップしたい。今日は、やさしいのがあんまり見からなかったから次は、もっと見たい。

9/10 すばしい!!
 6 次のでん強では、ちがうものがたり女でもこれせいかくを見つけたらいい。次は、図書かんの本やちがうでん強でもせいかくやこうどうや会話文もさがしたい。せいかくにちがう読んでみる!

9/10
 7 今日、わにのおじいさんのせいかくをつづに強しました。きのうおにの子のせいかくもつかいながら、おにのたからものほろぼったの。次のものがたい女でも会話文やせいかくやこうどうさがしたい。

- ◎ふりかえりのコツ◎
- ①自分のかわったこと・できるようになったこと
 「はじめは～と思っていたけど、～と考えるようになった。」 「～ができるようになった。」
 - ②大切なこと 「今日の学しゅうでは、～が大切だと思った。」
 - ③つながり 「今日の～は、前にならった～がつかえることが分かった。」
 - ④ぎもん 「～はどうしてだろうと思った。」 「～だったら、どうなるのかな？」
 - ⑤やってみたいこと 「つぎの学しゅうでは、～をやってみたい。」

A

子どもの記述内容より（振り返りシート）

単元全体の振り返り

- 友達と交流して自分が今まで気付かなかったことを気付いて直して、レベルアップしたなと思いました。
- 友達と振り返りを読み合って、友達のよいところをいっぱい見付けられました。いろいろな友達と話すことができた。
- 次の勉強では、違う物語文でも（登場人物の）性格を見付けたい。
- 次の物語文では、わにのおじいさんでやった勉強や、ほかにやったことも使いながらやる。（登場人物の）性格や行動やいろいろな使いながら書くのが大切だと思った。





「関数 $y = ax^2$ 」

中学校第 3 学年数学科

group

B

単元の課題

関数 $y = ax^2$ について学んだことを生活や学習に生かし、自転車での安全走行について考える。

<関数の世界をひろげよう>

自転車での安全走行について考えよう

(パフォーマンス課題)

自転車を運転しています。

時速 10km の速さで走る

とき、空走距離は 1.4m、

制動距離は 0.7mである

ことが分かっています。

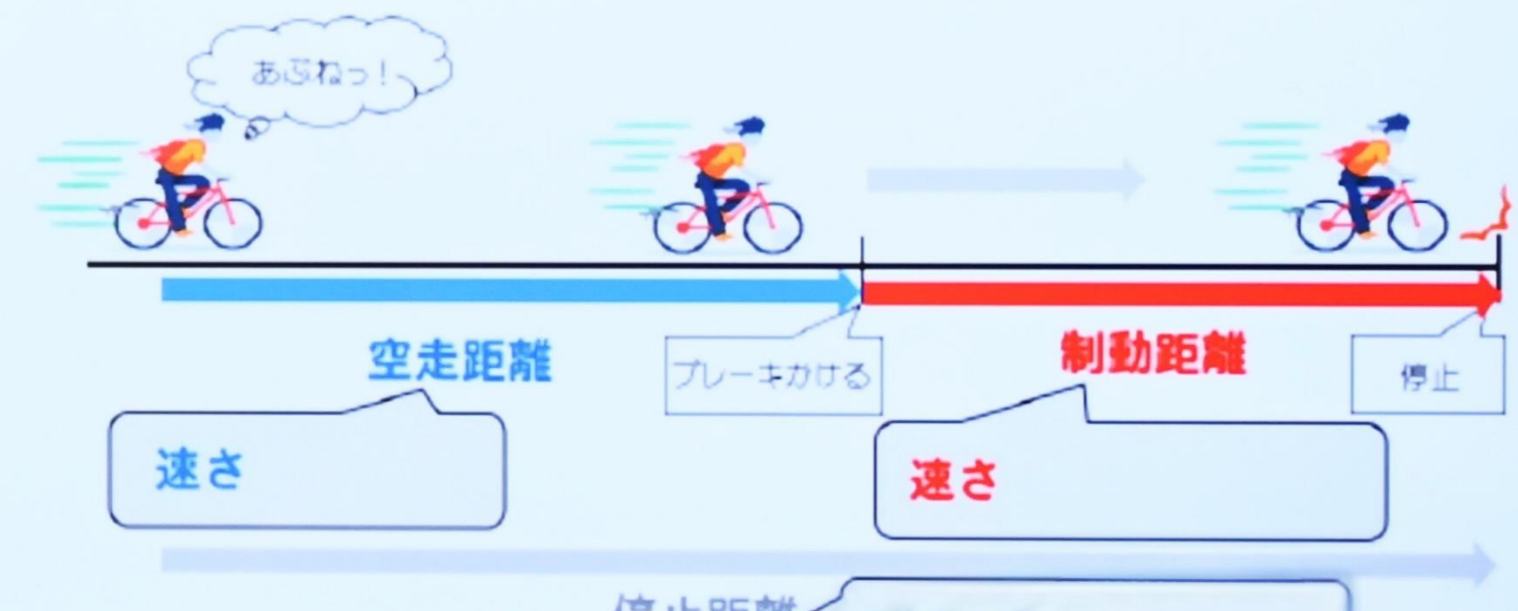
もし、時速 25km の速さ

で走っていて 10m先に危険

を察知したとき、その危険

を回避することができるか

空走距離、制動距離、停止距離とは



単元の
パフォーマンス課題▶

B

授業実践 1 (11 / 15時間)

本時の目標

具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を、関数 $y = ax^2$ とみなして、問題を解決する。



主な学習活動

世界一大きなブランコのひもの長さを、振り子の周期と長さの関係を基に予想する。



B

授業実践 1 (11 / 15時間)

考えを広げ深める
対話の工夫



思考スキル (対話の視点)

推論する

B

授業実践 1 (11 / 15時間)

自己決定の場の設定

考えを広げ深める
対話の工夫

- 考えをまとめる方法



各班の振り子の実験結果を集計すると、次の表のような結果になりました。

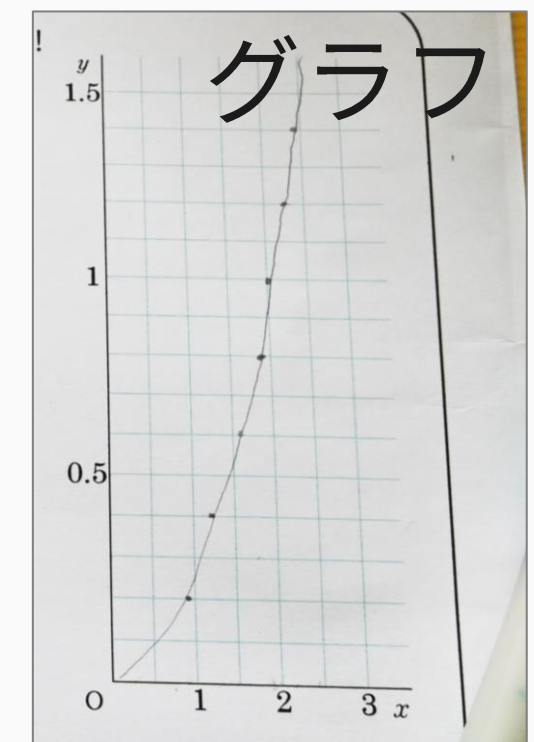
x (秒)	0.9	1.3	1.6	1.8	2.0	2.2	2.4
y (m)	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.4

表

$y = ax^2$ 式

$0.2 = 0.81a$	$0.6 = 2.56a$
$2.0 = 81a$	$6.0 = 256a$
$\frac{20}{81} = a$	$\frac{15}{64} = a$
$1 = 4a$	$1.4 = 5.76a$
$\frac{1}{4} = a$	$14.0 = 576a$
	$\frac{35}{144} = a$

$\rightarrow a \div \frac{1}{4}$





group **B**

授業動画①

(11/15時間目の様子)

 **対話** の場面



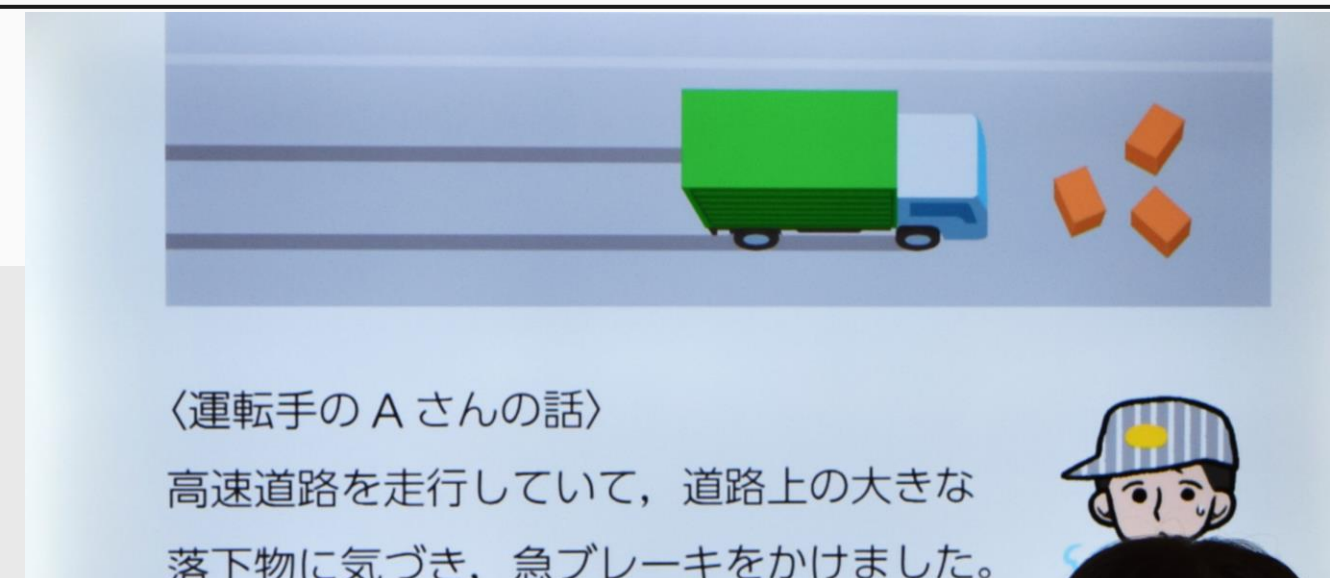
ひもの長さ……長さの変化に応じた

B

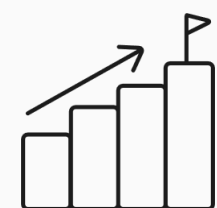
授業実践 2 (13 / 15時間)

本時の目標

関数 $y = ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し、問題を解決する過程を表現する。



主な学習活動

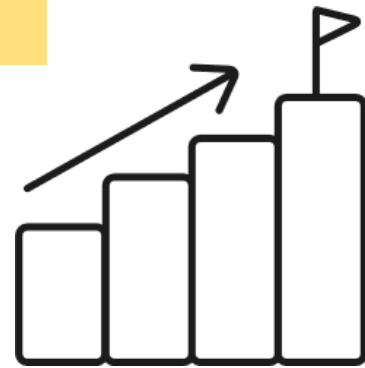


振り返り

- 自動車の走行時の速さを、速さとブレーキ痕の長さの関係に基づいて予想する。
- 単元全体の振り返りをする。



振り返りの視点

学びをつなげる
振り返り

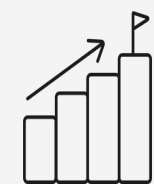
- ⑤ (自己の成長の自覚)
これまでの振り返りから自分の変化や成長を自覚する。
- ⑥ (批判的検討)
これまでの振り返りから自分の考えを捉え直す。



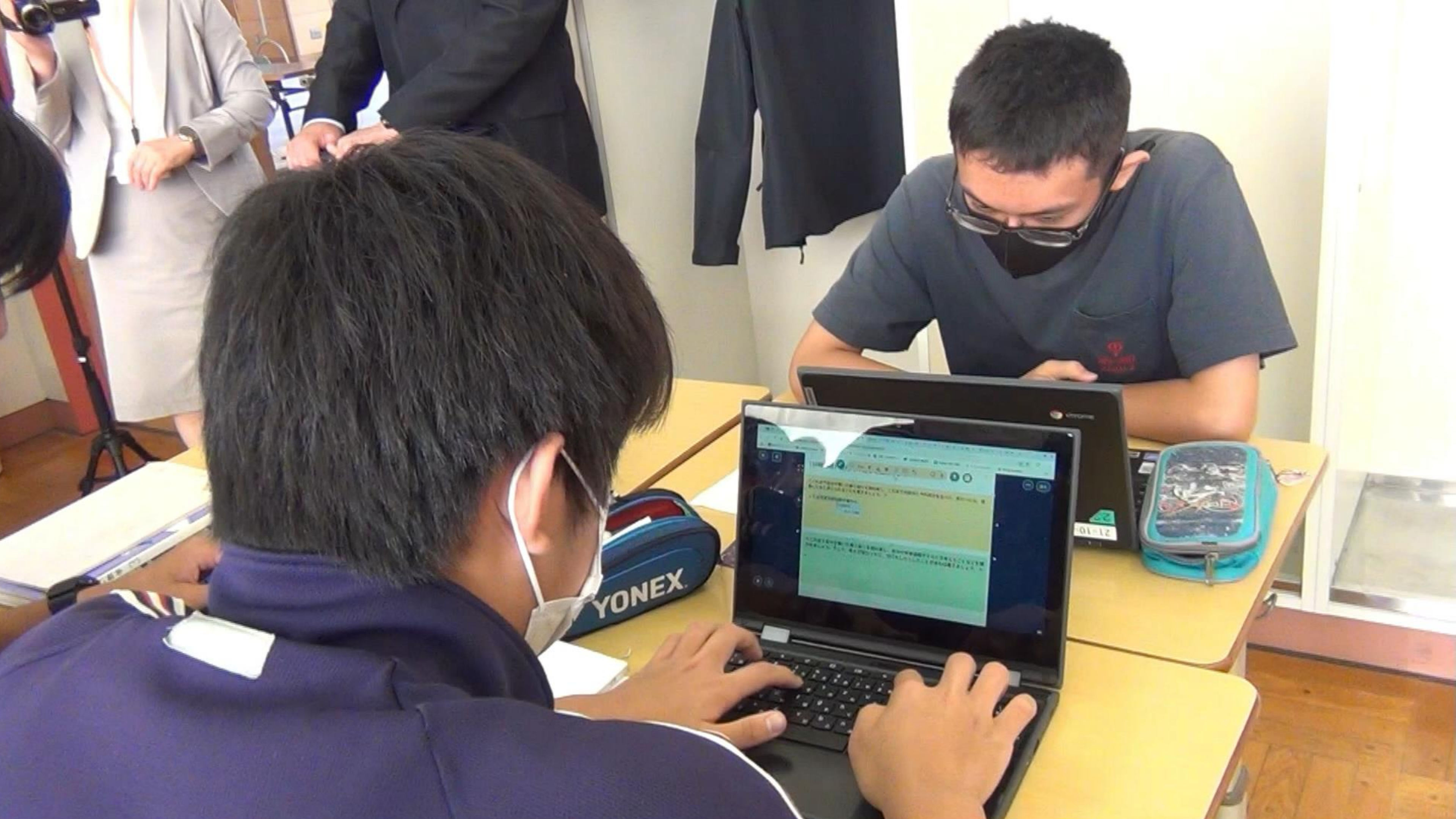
group **B**



授業動画② (13/15時間目の様子)



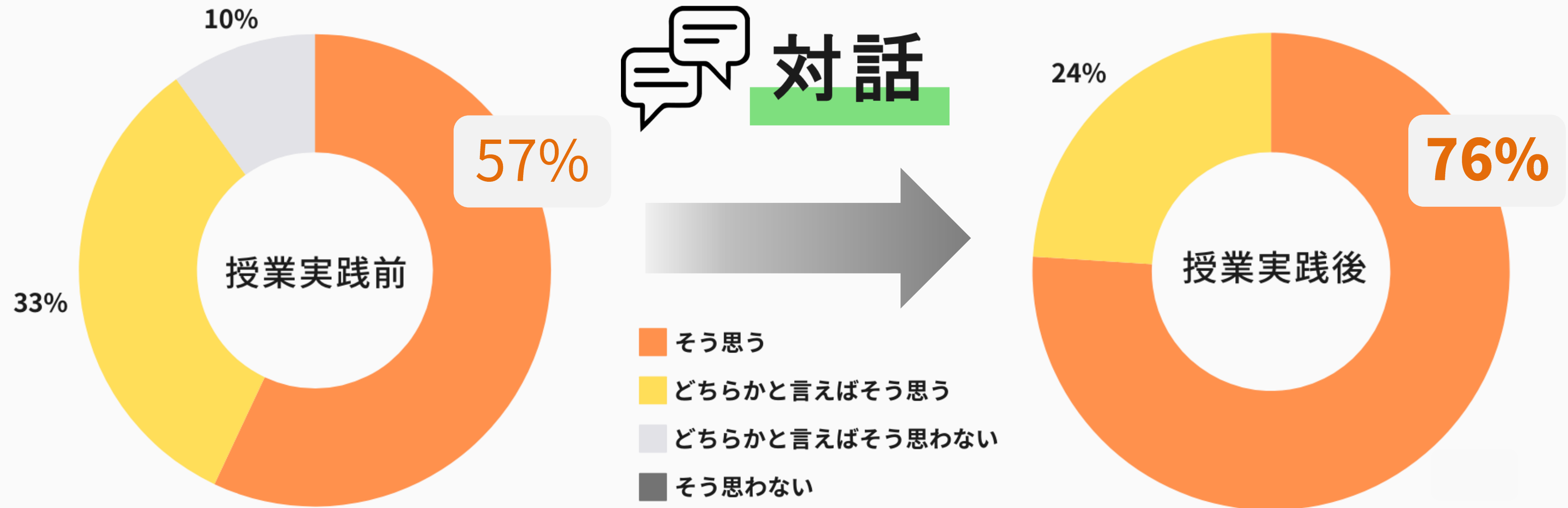
振り返り の場面



B

子どもへのアンケート調査より

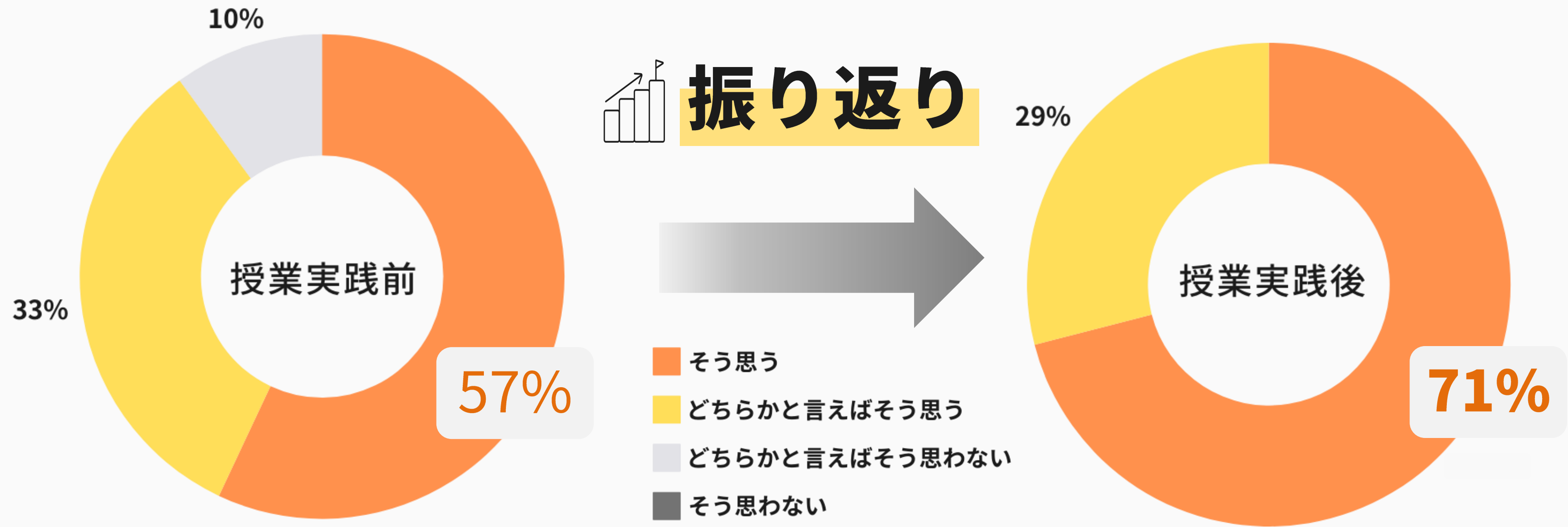
何について、何のために友達と話し合いをするのかを具体的に理解して、対話することができましたか。



B

子どもへのアンケート調査より

友達と振り返りを共有することで、自分の考えを広げたり深めたりすることができましたか。



B

子どもへのインタビューより

Q：問題解決の方法を表・式・グラフから自分で考えて選んだことには、どんなよさがありましたか。

方法を1つだけ先生から指定されると、そのやり方が分からない人についていけないけど、**自分で選んだやり方だと、やりやすい方法から迫っていけるのがよい**と思いました。

方法を選ぶために、どの解き方がよいのか**自分で比較して考えるし、いろいろな解き方の戦略をお互いに交流できたのがよかった**。



B

子どもへのインタビューより

Q：友達と振り返りを交流して、参考になったことや考えが広がったり深まったりしたことはありましたか。



ほかの単元とのつながりや、もっと知りたいことを書くのが得意な人の振り返りを読むと、気になることが出てきて、次につながるなと思う。

価値観がみんな違うので、疑問に思うところもバラバラだから、自分1人の振り返りだと一定の範囲でしか広げられないけど、いろいろな人の価値観の疑問を見たら、たくさん気付いて、それも知りたいなと思う。

B

子どもへのインタビューより

Q：振り返りを積み重ねることには、どんなよさがあると思いますか。

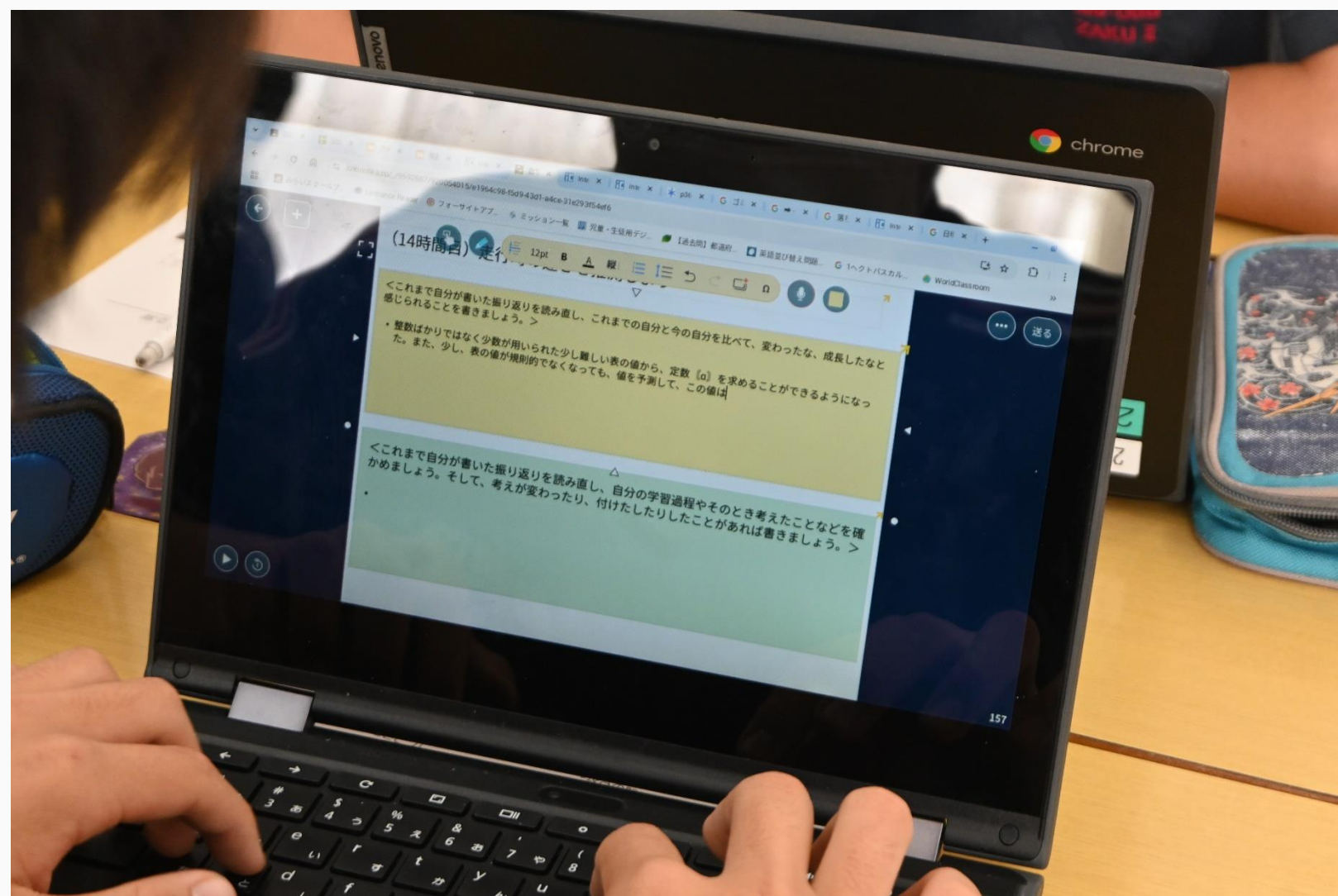


文で書くから自分の分かったことやできるようになったことが明確になった。文章の構成力や、ほかの人に説明する力も付いた。

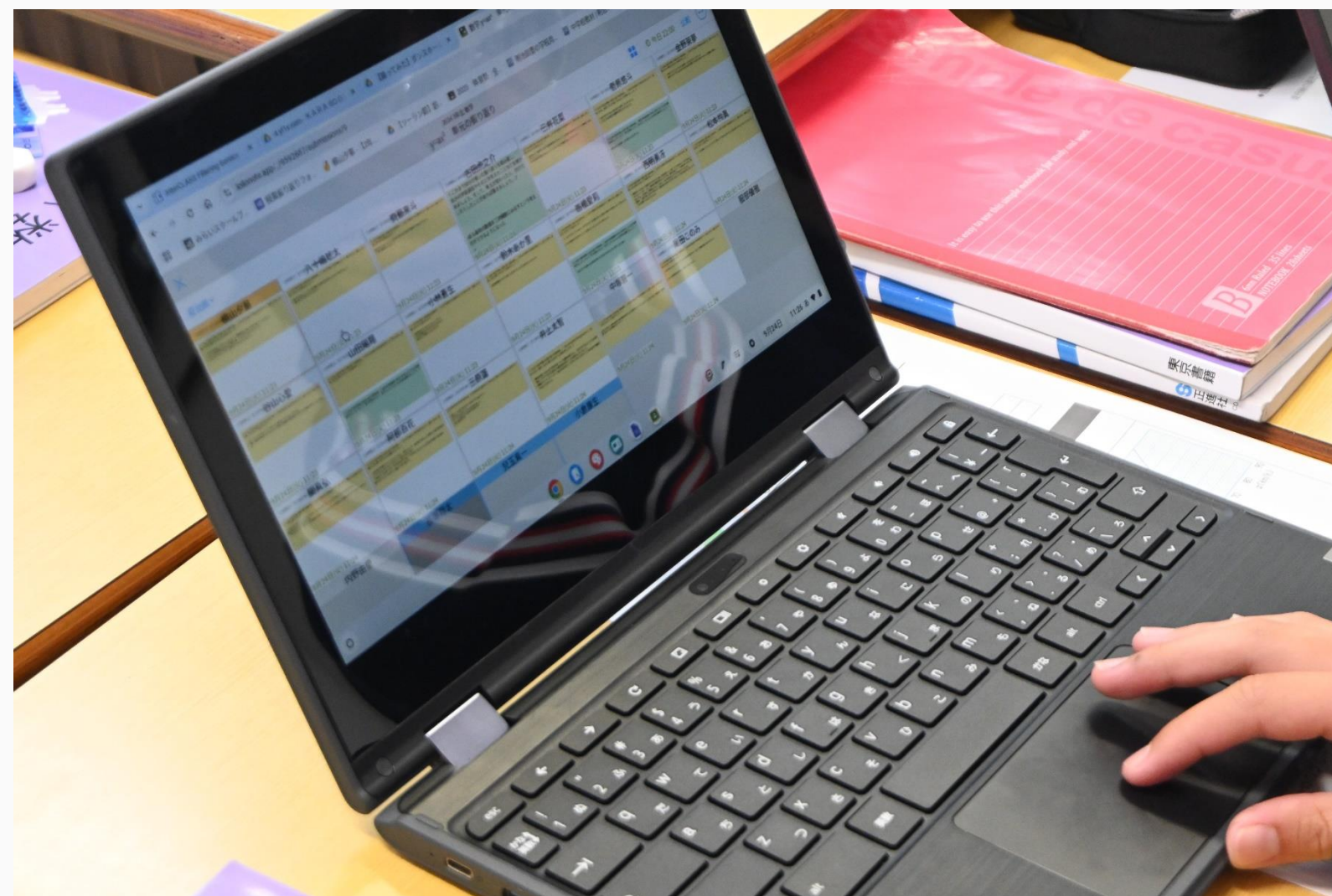
単元の始めの方で自分が疑問に思っていたところが、知識が増えた今では分かるようになったことが実感できる。振り返りを見返して、自分の苦手なところや復習しておきたいところを確認して、テスト前などに生かせるのはよいと思う。

B

子どもの振り返りの様子（ロイロノート）



「振り返りの視点」に沿って入力



他者と振り返りを共有・比較

B

子どもの記述内容より（ロイロノート）

単元全体の振り返り

- 友達と対話して、自分では思いつかなかったことやわからなかったことを聞くことができてよかった。
- 「しっかりできた」ではなく、「～ができたから…が深められた」と具体的に振り返りを書けるようになって、成長したなと思った。
- 友達と交流することで新しい考えを発見でき、より多くの方法で問題を解くことができるようになると思った。クラスメイトの自由な発想を知り、試してみたくなるのがいいと思う。



05

研究のまとめ

05





考えを広げ深める 対話の工夫



課題や目的意識の共有



自己決定の場の設定
シンキングツールの活用



考えの伝え合い・聞き合い

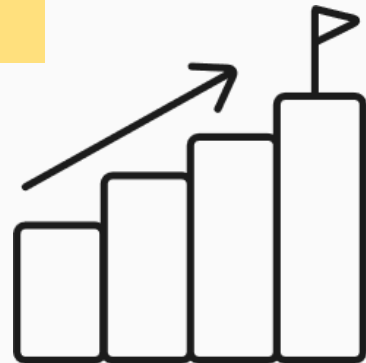


05

今年度の成果



学びをつなげる 振り返り



言語化・整理・自己調整



積み重ね



共有・比較





**子どもの実態や
発達段階に応じた配慮**



子どもの安心感や
対話・振り返りの質
を高める

**全体共有・価値づけ・
学び合う機会の確保**



学びの深まり
次へのつながり
が生まれる

対話



他者と協働して
よりよい問題解決に向かう

自分の考えを再形成して
学びを深めようとする

自己決定の積み重ね・
自身が考え選択する経験の蓄積

成果



今後に向けて

成果



蓄積による成長と変容

学びのつながり・
振り返りの有効活用

今後に向けて

効果的な実践例の共有・
授業のタイムマネジメント・継続できるシステム作り

振り返り



令和6年度 十勝管内教育研究所連絡協議会
共同研究

ご清聴ありがとうございました



実態交流

テーマ

「対話や振り返りの工夫を
どのように行っているか」

交流の流れ

- ① 司会者の自己紹介
- ② グループ内の自己紹介
- ③ テーマについて、各学校・研究所・個人での取組を交流

Breakout Room

※校種別にグルーピングをしております。